

[省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）]

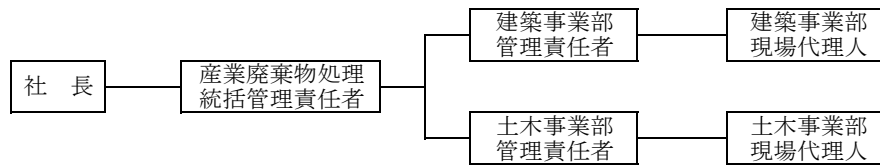
様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 23 日	
(宛先) 長野市長	荻原 健司 様
提出者	
住 所	長野県長野市中御所3丁目7番14号
氏 名	北信土建株式会社
	代表取締役 野澤 敏
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	026-226-2808
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	北信土建株式会社
事業場の所在地	長野県長野市中御所3丁目7番14号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	前年度管轄内完成工事高 65.7億円
③ 従業員数	75名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類 中間処理業者へ委託→再生砕石として再資源化・ガラス陶磁器くず 中間処理業者へ委託→マテリアルリサイクル又は埋立・廃プラスチック 中間処理業者へ委託→マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル又は埋立・金属くず 中間処理業者へ委託→マテリアルリサイクル・汚泥 中間処理業者へ委託→再生土として再資源化・紙くず 中間処理業者へ委託→マテリアルリサイクル又は焼却・木くず 中間処理業者へ委託→木材チップとして再資源化又はサーマルリサイクル・廃石膏ボード 中間処理業者へ委託→マテリアルリサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	排 出 量	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.48t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	排 出 量	470.80t	1.35t	12.45t	27.61t	0.01t	1.53t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	排 出 量	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.60t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	排 出 量	340.30t	0.90t	90.00t	19.90t	0.01t	1.10t
(今後実施する予定の取組) 一般廃棄物は社内での取り組みが主で、産業廃棄物としての排出はほとんどが各現場からの物であり、携わる協力業者によるところが大である為、削減に向け現場での指示徹底を図る。 又、受注工事内容によっても産業廃棄物の量に大きな差が出てしまうが、工事内容を熟知し、引き続きロスの出ない割付や製品の選定を推進し、産廃量の削減、リサイクルに努める。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工事の進捗状況に合わせ、想定される産業廃棄物の種類の数だけコンテナ及びフレコンバックを用意している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 受注工事の内容によって発生する産業廃棄物の種類を想定し、その予想される産業廃棄物の種類の数だけコンテナ及びフレコンバックを用意し、表示も明確にし、できる限り分別し、混合廃棄物を少なくし、リサイクルに努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施していない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施していない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまで実施した取組) 実施していない							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 実施していない							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】						
産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類(コンクリート、アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
全 処 理 委 託 量	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.48t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	119.30t	5.30t	30.06t	13.00t		5.43t
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.38t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						0.10t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
全 処 理 委 託 量	470.80t	1.35t	12.45t	27.61t	0.01t	1.53t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	106.60t		9.50t	1.87t	0.01t	0.50t
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	416.90t	1.35t	12.45t		0.01t	1.53t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	53.90t					

①現状

（これまでに実施した取組）
 建築事業部では、電子マニフェスト導入業者への委託が多い。又、優良認定処理業者への依頼も心掛けています。
 土木事業部では排出量が多い為、現場所在地から最も近く、処理能力のある業者を選択している。

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	紙くず
	全処理委託量	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.60t
	優良認定処理業者への処理委託量	150.00t	10.00t	30.00t	20.00t	10.00t	10.00t
	再生利用業者への処理委託量	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.00t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						0.60t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀灯・蛍光灯	廃油
	全処理委託量	340.30t	0.90t	90.00t	19.90t	0.01t	1.10t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.00t	0.50t	10.00t	2.00t	0.01t	1.00t
	再生利用業者への処理委託量	300.30t	0.90t	90.00t		0.01t	1.10t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	40.00t					
	(今後実施する予定の取組)						
	処理委託業者選定には、再生利用可能な業者、優良認定処理業者を優先的に選択するようにする。又、中間処理施設への運搬距離も考慮し業者選定を行う。						

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項			産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計	
			がれき類 (コンクリ がら、廃 アスファ ルト等)	ガラス・ コンク リート・ 陶磁器 等	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡スチ ロール等)	金属くず	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合 廃棄物(安 定型、管 理型)	石綿含有 産業廃棄 物	水銀灯・ 蛍光灯	廃油		
排出抑制に関する事項			前年度排出量(実績)	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.48t	470.80t	1.35t	12.45t	27.61t	0.01t	1.53t	3,481.23t
			本年度排出量(計画)	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.60t	340.30t	0.90t	90.00t	19.90t	0.01t	1.10t	2,597.21t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項			前年度実績													
			本年度計画(目標)													
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項			前年度実績													
			本年度計画(目標)													
処理 の 委 託 に 関 する 事 項	全処理委託量	前年度実績	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.48t	470.80t	1.35t	12.45t	27.61t	0.01t	1.53t	3,481.23t	
		本年度計画(目標)	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.60t	340.30t	0.90t	90.00t	19.90t	0.01t	1.10t	2,597.21t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	119.30t	5.30t	30.06t	13.00t		5.43t	106.60t		9.50t	1.87t	0.01t	0.50t	291.57t	
		本年度計画(目標)	150.00t	10.00t	30.00t	20.00t	10.00t	10.00t	100.00t	0.50t	10.00t	2.00t	0.01t	1.00t	343.51t	
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	2,480.92t	51.16t	60.80t	298.12t	52.00t	24.38t	416.90t	1.35t	12.45t		0.01t	1.53t	3,399.62t	
		本年度計画(目標)	1,793.60t	36.90t	43.90t	215.50t	37.50t	17.00t	300.30t	0.90t	90.00t		0.01t	1.10t	2,536.71t	
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績						0.10t	53.90t						54.00t	
		本年度計画(目標)						0.60t	40.00t						40.60t	

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。